

令和6年度

静岡県経済産業ビジョン

2022～2025

進捗評価書

令和7年3月

静岡県経済産業部

「経済産業ビジョン 2022～2025」の位置付けと施策体系

「経済産業ビジョン 2022～2025」は、「静岡県総合計画・静岡県の新ビジョン後期アクションプラン」を
着実に実施するための実施計画として、施策の目的、目標、手段を具体的に表したものである。

【 総合計画と経済産業ビジョンの位置付け 】

静岡県総合計画・静岡県の新ビジョン後期アクションプラン

富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり

- 第1章 計画の位置付け
- 第2章 社会経済を取り巻く大きな変化
- 第3章 本県が直面する課題
- 第4章 新ビジョンの基本方針
- 第5章 政策体系と行政経営
- 第6章 地域づくりの基本方向
- 第7章 政策ごとの具体的取組
 - 1 命を守る安全な地域づくり
 - 2 安心して暮らせる医療・福祉の充実
 - 3 デジタル社会の形成
 - 4 環境と経済が両立した社会の形成
 - 5 子どもが健やかに学び育つ社会の形成
 - 6 “才徳兼備”の人づくり
 - 7 誰もが活躍できる社会の実現
 - 8 富をつくる産業の展開
 - 9 多彩なライフスタイルの提案
 - 10 地域の価値を高める交通ネットワークの充実
 - 11 “ふじのくに”の魅力の向上と発信
 - 12 世界の人々との交流の拡大
- 第8章 政策の実効性を高める行政経営
- 第9章 地域の目指す姿

＜ 基本理念 ＞

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
～ 東京時代から静岡時代へ ～

＜ 目指す姿 ＞

「県民幸福度」の最大化

生まれてよし 老いてよし、生んでよし 育ててよし
学んでよし 働いてよし、住んでよし 訪れてよし

＜ 経済産業分野の主な取組 ＞

- 1-2 防疫対策の強化
- 1-3 防災・減災対策の強化
- 3-1 地域社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 4-1 脱炭素社会の構築
- 4-2 循環型社会の構築
- 4-3 「命の水」と自然環境の保全
- 6-2 次代を担うグローバル人材の育成
- 7-1 活躍しやすい環境の整備と働き方改革
- 8-1 DXによる産業構造の改革
- 8-2 地域主導型の経済政策「フジノミクス(※1)」の推進
- 8-3 リーディングセクター(※2)による経済の牽引
- 8-4 富を支える地域産業の振興
- 8-5 農林水産業の競争力の強化
- 9-1 魅力的な生活空間の創出
- 9-2 新しい働き方の実践
- 9-3 人の流れの呼び込み
- 11-3 美しい景観の創造と自然との共生
- 12-2 地域外交の深化と通商の実践

静岡県
経済産業ビジョン
2022～2025

(※1) ヘルス(健康)とウェルス(富)の一体的推進を図りながら、需要面から財とサービスの消費を喚起し、供給面からリーディング産業の育成を図る地域主導型経済政策
(※2) 医薬品・医療機器産業、次世代自動車産業、観光産業など、本県経済を強力に牽引する産業

静岡県経済産業ビジョン 2022～2025

現状と課題（経済・産業）

- 人口減少・少子高齢化の進行 市場縮小や経営者高齢化、人手不足への対応
- デジタル化の進展 産業構造の転換、ICT人材の確保・育成
- 脱炭素社会の構築 カーボンニュートラル、循環経済への対応
- コロナ禍による社会変容 事業再構築・再生、地方回帰の動き
- グローバル化の進展 自由貿易拡大、サプライチェーン多元化
- 事業リスクの多様化 災害・感染症への備え、持続可能な地域形成

基本理念・目指す「静岡県の姿」

東京時代から静岡時代へ
～新しい生産と消費の循環でSDGsを達成～

戦略的な施策展開

第1章 富を生み出すものづくり・商業・サービス業のイノベーション

- [方向1] 成長分野における産業育成・プラットフォーム構築
- [方向2] 事業環境の変化を好機と捉えた中小企業の成長促進

第2章 環境と経済が両立した社会の形成

- [方向1] 環境と経済が両立した社会の形成

第3章 農業生産の革新と美しく活力ある農村の創造

- [方向1] 生産性と持続性を両立した次世代農業の実現
- [方向2] 人々を惹きつける「都」づくりと持続可能な農村の創造

第4章 林業の成長産業化と森林の多面的機能の発揮

- [方向1] 森林資源の循環利用を担う林業・木材産業によるグリーン成長、[方向2] 森林の公益的機能の維持・増進
- [方向3] 社会全体で取り組む魅力ある森林づくり、[方向4] 「森林との共生」によるカーボンニュートラルの実現

第5章 水産業の持続的な発展と新たな海洋産業の創出

- [方向1] 水産業・海洋産業の高収益化・成長産業化
- [方向2] 静岡の海の豊かさの維持・増大

数値目標の進捗状況の評価区分

1 指標の評価

アウトカム指標である「成果指標」とアウトプット指標である「活動指標」について、次の評価区分により評価を実施した。

＜「目標値」に向け、増加（又は減少）を目指すもの＞

評価区分		判断基準
成果指標	活動指標	
目標値以上	◎	「現状値」が「目標値」以上のもの
A		「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	○	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	●	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下		「現状値」が「基準値」以下のもの
—	—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

※原則として、計画最終年度（2025年度）に目標を達成するものとして、基準値から目標値に向けて各年均等に推移した場合における各年の数値を「期待値」とする。

※基準値は、計画策定時の「現状値」とする。

＜「目標値」の維持を目指す数値目標＞

評価区分		判断基準
成果指標	活動指標	
目標値以上	◎	「現状値」が「目標値」115%以上のもの
B	○	「現状値」が「目標値」以上のもの
		「現状値」が「目標値」の85%以上 100%未満のもの
C	●	「現状値」が「目標値」の85%未満のもの
基準値以下		「現状値」が「基準値」以下のもの
—	—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

評価の全体概要

1 経済産業ビジョンの進捗評価

経済産業ビジョンを効果的に推進するため、P D C Aサイクルに基づき進捗管理を行うこととしている。毎年度、施策の進捗状況と成果を検証・評価するとともに、社会経済情勢の変化を踏まえ施策の改善等を行う。

2 令和6年度の評価

- アウトカム指標である「成果指標」の評価を実施し、「C」、「基準値以下」の指標については、その理由を記載した。

3 評価結果の概要

- 成果指標については、45 指標のうち、14 指標が「前倒しで実施（目標値以上またはA）」、15 指標が「計画どおり実施（B）」となり、全体の64%が目標達成に向けて順調に進捗している。
- 活動指標については、128 指標のうち、38 指標が「前倒しで実施（◎）」、61 指標が「計画どおり実施（○）」となり、全体の77%が目標達成に向けて順調に進捗している。

〈成果指標の進捗状況〉

施策体系	目標値以上	A	B	C	基準値以下	計
富を生み出すものづくり・商業・サービス業のイノベーション	5	4	8	4	3	24
環境と経済が両立した社会の形成	0	1	1	0	0	2
農業生産の革新と美しく活力ある農村の創造	4	0	4	1	4	13
林業の成長産業化と森林の多面的機能の発揮	0	0	2	0	2	4
水産業の持続的な発展と新たな海洋産業の創出	0	0	0	1	2	3
計（再掲含む）	9	5	15	6	11	46
計（再掲除く）	9	5	15	6	10	45
	20%	11%	33%	13%	22%	

64%

※小数点以下の端数処理のため、合計が一致しない場合がある

〈活動指標の進捗状況〉

施策体系	◎	○	●	計
富を生み出すものづくり・商業・サービス業のイノベーション	19	21	10	50
環境と経済が両立した社会の形成	3	6	1	10
農業生産の革新と美しく活力ある農村の創造	10	15	10	35
林業の成長産業化と森林の多面的機能の発揮	5	13	14	32
水産業の持続的な発展と新たな海洋産業の創出	4	8	0	12
計（再掲含む）	41	63	35	139
計（再掲除く）	38	61	29	128
	30%	48%	23%	

77%

※小数点以下の端数処理のため、合計が一致しない場合がある

■ 指標一覧

成果指標一覧

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

第1章 富を生み出すものづくり・商業・サービス業のイノベーション

方向1 成長分野における産業育成・プラットフォーム構築

(1) リーディング産業の育成（先端産業創出プロジェクト等の展開）

成果	先端産業創出プロジェクト等による事業化件数(合計)	(2017～2020年度) 累計 357件	(2022～2023年度) 累計 264件	B	(2022～2025年度) 累計 476件	
(内訳)	(うち、ファルマバレープロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 57件	(2022～2023年度) 累計 30件	B	(2022～2025年度) 累計 60件	
(内訳)	(うち、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 195件	(2022～2023年度) 累計 136件	B	(2022～2025年度) 累計 216件	
(内訳)	(うち、フotonバレープロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 34件	(2022～2023年度) 累計 11件	C	(2022～2025年度) 累計 44件	事業化には複数年度を要するものが多い中、新型コロナの期間に事業化案件の掘り起こしや支援が十分にできなかったため。(コロナ後は、事業化件数は増加傾向(R4:3件、R5:8件))
(内訳)	(うち、自動車産業における電動化・デジタル化の推進)	(2019～2020年度) 累計 20件	(2022～2023年度) 累計 23件	B	(2022～2025年度) 累計 44件	
(内訳)	(うち、ふじのくにCNFプロジェクト)	(2018～2020年度) 累計 11件	(2022～2023年度) 累計 14件	A	(2022～2025年度) 累計 16件	
(内訳)	(うち、MaOIプロジェクト)	(2019～2020年度) 累計 3件	(2022～2023年度) 累計 17件	B	(2022～2025年度) 累計 37件	
(内訳)	(うち、AOIプロジェクト)	(2018～2020年度) 累計 22件	(2022～2023年度) 累計 14件	B	(2022～2025年度) 累計 27件	
(内訳)	(うち、ChaOIプロジェクト)	(2020年度) 0件	(2022～2023年度) 累計 11件	A	(2022～2025年度) 累計 16件	
(内訳)	(うち、次世代航空機を含む航空宇宙産業等の成長産業分野への参入支援)	(2017～2020年度) 累計 15件	(2022～2023年度) 累計 8件	B	(2022～2025年度) 累計 16件	

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

(2) リーディングセクターによる経済の牽引

成果	リーディングセクターにおける県支援による事業化件数 (本県経済を強力に牽引する産業における県支援による事業化件数)(合計)	(2017～2020年度) 累計 49件	(2022～2023年度) 累計 26件	B	(2022～2025年度) 累計 68件	
(内訳)	(うち、医薬品・医療機器産業)	(2017～2020年度) 累計 9件	(2022～2023年度) 累計 11件	A	(2022～2025年度) 累計 12件	
(内訳)	(うち、フーズ・ヘルスケア産業)	(2017～2020年度) 累計 22件	(2022～2023年度) 累計 9件	C	(2022～2025年度) 累計 28件	事業化には複数年度を要するものが多い中、新型コロナの期間に事業化案件の掘り起こしや支援が十分にできなかったため。(コロナ後は、事業化件数は増加傾向(R4:3件、R5:6件))
(内訳)	(うち、光・電子関連産業)	(2017～2020年度) 累計 15件	(2022～2023年度) 累計 2件	C	(2022～2025年度) 累計 20件	光・電子関連産業の開発は高度な技術が必要であり、資金負担の大きい助成事業よりも大学が課題を解決するA-SAPのニーズが高いため。(R4:2件、R5:0件)
(内訳)	(うち、次世代自動車)	(2017～2020年度) 累計 3件	(2022～2023年度) 累計 4件	B	(2022～2025年度) 累計 8件	

(3) DXを推進する産業人材の確保・育成

成果	ICT人材を確保している企業の割合	(2021年度) 48.0%	(2023年度) 55.8%	A	58%	
----	-------------------	-------------------	-------------------	---	-----	--

(4) オープンイノベーションを促す環境整備

成果	先端産業創出プロジェクトとの連携による地域企業の協業・販路開拓等件数	(2017～2020年度) 累計 7件	(2022～2023年度) 累計 23件	A	(2022～2025年度) 累計 24件	
----	------------------------------------	------------------------	-------------------------	---	-------------------------	--

(5) 社会構造の変化を踏まえた企業立地政策の推進

成果	企業立地件数(製造業等の工場)	(2017～2020年) 累計 296件	(2022～2023年度) 累計 99件	C	(2022～2025年) 累計 300件	新型コロナの影響により、全国的に企業の設備投資が慎重であった。 なお、事業進捗は遅れがみられるものの、令和4年の企業立地件数は52件で全国第4位、令和5年は47件(累計99件)で第3位となり、24年連続で全国5位以内を維持している。
成果	県外に本社を置く企業の立地件数(製造業等の工場)	(2017～2020年) 累計 54件	(2022～2023年度) 累計 23件	B	(2022～2025年) 累計 55件	
成果	県外に本社を置く企業の県内への初進出件数(製造業等の工場)	(2017～2020年) 累計 25件	(2022～2023年度) 累計 9件	B	(2022～2025年) 累計 25件	

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

方向2 事業環境の変化を好機と捉えた中小企業の成長促進

2-1 グローバル型・サプライチェーン型企業の事業拡大（中小から中堅企業への成長）

(1) 地域経済を牽引する中堅企業に向けた投資促進（人材投資、研究開発、設備投資）

成果	製造業の従業者1人当たり付加価値額	(2019年) 1,426万円	(2022年) 1,510万円	目標値以上	1,482万円	
成果	中小企業の経営革新計画承認件数	(2017～2020年度) 累計 2,236件	(2022～2023年度) 累計 910件	B	(2022～2025年度) 累計 2,300件	
成果	オープンイノベーション静岡の支援による地域企業の新たな製品開発・協業等件数	(2017～2020年度) 累計 40件	(2022～2023年度) 累計 26件	B	(2022～2025年度) 累計 44件	

(2) 海外市場での競争力強化と活力取り込み

成果	県内本社企業の新規海外展開事業所数	(2017～2019年度) 累計 55事業所	(2022～2023年度) 累計 23事業所	C	(2022～2025年度) 累計 76事業所	今まで海外進出が進んできたアジアの給与水準が上昇したこと等により、コスト削減を主な目的とした海外進出の流れが落ち着いたほか、2022年頃から円安が続いたことなどから製造業の国内回帰の流れが生まれたため。
----	-------------------	---------------------------	---------------------------	---	---------------------------	---

2-2 地域資源型・地域コミュニティ型企業の経営強靱化（中小・小規模企業の持続的発展）

(1) 中小企業の持続的発展に向けた経営力向上

成果	主要な地場産業の全国シェア	(2019年) 繊維3.0% 家具5.1% 紙・パルプ11.3%	(2022年) 繊維3.1% 家具5.3% 紙・パルプ11.7%	目標値以上	毎年 繊維3.1% 家具5.1% 紙・パルプ11.4%	
----	---------------	---	---	-------	--------------------------------------	--

(2) 中小企業の強靱化に向けた経営基盤強化

成果	事業承継計画策定件数	(2020年度) 1,004件	(2023年度) 628件	基準値以下	毎年度 1,000件	物価高騰等の影響による先行きの不安から事業承継を諦めたり躊躇する事業者が増えているほか、M&Aの普及により計画策定を伴わない第三者承継が増えているため。
----	------------	--------------------	------------------	-------	------------	--

(3) 地域を支える魅力ある商業・サービス産業の振興

成果	商店街の空き店舗率	(2020年度) 9.3%	(2023年度) 10.7%	基準値以下	毎年度 9.3%以下	対象13市町のうち6市町は維持又は改善したが、物価高騰等による先行き不安などから全体として空き店舗率は悪化した。
成果	市町創業支援等事業計画による支援を受けた創業者数	(2020年度) 1,384人	(2023年度) 1,655人	A	1,690人	

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

2-3 地域産業の基盤強化

(1) デジタル化の推進

成果	DX分野の経営革新計画の承認件数	(2020年度) 41件	(2022～2023年度) 累計 103件	B	(2022～2025年度) 累計 172件	
----	------------------	-----------------	--------------------------	---	--------------------------	--

(2) 災害対策・BCP策定の促進

成果	県内の従業者50人以上の企業における事業継続計画(BCP)策定率	(2021年度) 63%	(2023年度) 66.5%	A	68%	
成果	県内の従業者49人以下の企業における事業継続計画(BCP)策定率	(2021年度) 35%	(2023年度) 40.3%	目標値以上	40%	

(3) 多様な人材の活躍促進

成果	県内出身大学生のUターン就職率	(2020年度) 36.7%	(2023年度) 32.9%	基準値以下	43%	首都圏を中心として大手企業の採用意欲が回復し、学生も大手企業志向に回帰する傾向があるため。
成果	一般労働者の年間総実労働時間(5人以上事業所)	(2020年) 1,935時間	(2023年度) 1,984時間	目標値以上	毎年 2,006時間以下	
成果	希望に応じてテレワークを利用できる職場環境の整備に取り組んでいる中小企業の割合	(2021年度) 16.3%	(2023年度) 17.6%	C	25%	製造業など導入に不向きな業種もある中で、テレワーク導入のためには対応すべきことが幅広く、中小企業においては導入に至るハードルが高いため。
成果	事業所の管理職に占める女性の割合	(2020年度) 係長27.1% 課長14.5% 部長11.1%	(2023年度) 係長22.3% 課長16.4% 部長13.8%	B	係長30% 課長18% 部長12%	
成果	障害者雇用率	(2021年度) 2.28%	(2023年度) 2.37%	C	2.7%	障害者の就職件数は3,335件と過去最高を更新し、県全体の実雇用率も法定雇用率2.3%を達成したが、2026年7月の法定雇用率引き上げを踏まえ、2023年度に目標値を2.4%から2.7%に引き上げたこと、就職件数が近年大幅に増加している精神障害者の定着率が低いことなどから、実績値が目標を下回った。
成果	デジタル等海外高度人材内定者数	(2020年度) 29人	(2023年度) 49人	目標値以上	毎年度 45人	

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

第2章 環境と経済が両立した社会の形成

方向1 環境と経済が両立した社会の形成

(1) 脱炭素社会実現のためのエネルギー体制構築

成果	再生可能エネルギー導入量	(2020年度) 52.3万kl	(2022年度) 61.0万kl	B	72.7万kl	
成果	県内の電力消費量に対する再生可能エネルギー等の導入率	(2020年度) 18.2%	(2022年度) 22.9%	A	26.2%	

(2) 循環型社会の構築のための産業転換支援

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

第3章 農業生産の革新と美しく活力ある農村の創造

方向1 生産性と持続性を両立した次世代農業の実現

(1) デジタル技術等を活用した農芸品の生産性向上

成果	農業産出額 (販売農家1戸当たり産出額)	(2020年) 1,887億円 (773万円/戸)	(2023年) 2,245億円 (989万円/経営体)	B	2,400億円 (1,091万円/経営体)	
成果	担い手への農地集積面積	(2020年度) 26,512ha	(2023年度) 26,997ha	C	30,481ha	農地が分散している地域や中山間地域、基盤整備が進んでいない地域で集積が遅れていること、及び担い手の減少や高齢化により伸び悩んでいる。

(2) 農業生産における環境負荷の軽減

成果	有機農業の取組面積	(2020年度) 418ha	(2023年度) 644ha	目標値以上	620ha	
----	-----------	-------------------	-------------------	-------	-------	--

(3) 次代を担う農業経営体の育成

成果	持続可能な農業経営体数	(2019年) 4,163経営体	(2023年) 3,703経営体	基準値以下	4,400経営体	経営主の高齢化・後継者不足などの理由により、販売額が大きく経営が安定していても離農する経営体が多かったと考えられる。
----	-------------	---------------------	---------------------	-------	----------	--

(4) 市場と生産が結びついた「ふじのくにマーケティング戦略」の推進

成果	農業生産関連事業の年間販売金額	(2019年度) 1,138億円	(2022年度) 991億円	B	毎年度 1,100億円	
成果	しずおか食セレクション販売額	(2020年度) 440億円	(2023年度) 602億円	目標値以上	600億円	
成果	県産農林水産品の山の洲3県(山梨県、長野県、新潟県)への流通金額	(2020年度) 41億円	(2023年度) 51億円	目標値以上	50億円	
成果	清水港の食料品の輸出額	(2021年) 247億円	(2023年) 227億円	基準値以下	350億円	清水港から山の洲(静岡、山梨、長野、新潟)産品を輸出する商流・物流を構築する実証事業等に取り組み、お茶やかんしょなどの輸出額が増加したものの、ロシア・ウクライナ情勢の不安定化によるロシア向け需要の減少や、近年の漁獲量減少の影響を受け、コーヒーや魚介類などの輸出額が減少したため。

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

方向2 人々を惹きつける「都」づくりと持続可能な農村の創造

(1) 人々を惹きつける都づくり

成果	「バイ・シズオカ」「バイ・ふじのくに」「バイ・山の洲」の取組に参加した県民の割合	(2021年度) 59%	(2023年度) 51%	基準値以下	70%	バイ・シズオカ等の認知度が低く、県産品の購入や施設利用等の県民の行動と「バイ・シズオカ等の取組」という言葉が結びついて認識されていないため。
成果	緑茶出荷額全国シェア	(2019年度) 55.6%	(2022年度) 55.3%	基準値以下	60%	コロナ禍で全国的に減少した緑茶出荷額が回復しつつあるが、国内のリーフ茶の消費低迷が続き、抹茶やてん茶の転換が遅れているリーフ茶を主体とする静岡県の出荷額の回復に遅れが見られたため。
成果	花き県内流通額	(2019年度) 103億円	(2022年度) 122億円	目標値以上	120億円	

(2) 美しく活力のある農村の創造

成果	ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数	(2020年度) 73,058人	(2023年度) 81,454人	B	87,600人	
成果	鳥獣による農作物被害額	(2020年度) 297百万円	(2023年度) 255百万円	B	233百万円	

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

第4章 林業の成長産業化と森林の多面的機能の発揮

方向1 森林資源の循環利用を担う林業・木材産業によるグリーン成長

(1) 林業イノベーションの推進による県産材の安定供給

成果	木材生産量	(2020年) 42.1万㎡ (2019年)47.6万㎡	(2023年) 45.1万㎡	B	毎年 50万㎡	
----	-------	------------------------------------	-------------------	---	---------	--

(2) 林業の人材確保・育成と持続的経営の定着

(3) 県産材製品の需要拡大

方向2 森林の公益的機能の維持・増進

(1) 森林の適切な管理・整備

成果	森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積	(2020年度) 10,314ha	(2023年度) 9,613ha	基準値以下	毎年度 11,490ha	公共造林事業等を活用して森林整備の支援を進めたが、R5.6台風2号等の災害の影響により、整備地までの林道等が被災したことで、計画していた森林整備に遅れが生じたため。
----	--------------------------	----------------------	---------------------	-------	--------------	--

(2) 多様性のある豊かな森林の保全

方向3 社会全体で取り組む魅力ある森林づくり

(1) 県民と協働で進める森林づくり

成果	森づくり県民大作戦参加者数	(2020年度) 11,898人 (2019年度)28,149人	(2023年度) 19,317人	B	28,000人	
----	---------------	--	---------------------	---	---------	--

(2) 新たな価値を活かした山村づくり

方向4 「森林との共生」によるカーボンニュートラルの実現

(1) 森林吸収源の確保

成果	【再掲】森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積	(2020年度) 10,314ha	(2023年度) 9,613ha	基準値以下	毎年度 11,490ha	公共造林事業等を活用して森林整備の支援を進めたが、R5.6台風2号等の災害の影響により、整備地までの林道等が被災したことで、計画していた森林整備に遅れが生じたため。
----	------------------------------	----------------------	---------------------	-------	--------------	--

(2) 炭素貯蔵と排出削減に寄与する森林資源の循環利用の促進

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値	「C」、「基準以下」の理由
----	----	-----	-----------------	-----	---------------

第5章 水産業の持続的な発展と新たな海洋産業の創出

方向1 水産業・海洋産業の高収益化・成長産業化

(1) 水産業の魅力の増大

成果	1 経営体当たり漁業産出額 (かつお・まぐろ類を除く海面漁業と海面養殖業から算出)	(2019年度) 923万円	(2022年度) 732万円	基準値以下	毎年度 1,000万円	黒潮大蛇行の長期化等の影響により、アサリ等の主要魚種が不漁となったため。
成果	新規漁業就業者数	(2020年度) 57人	(2023年度) 65人	C	毎年度 80人	主要魚種が不漁である沿岸漁業への就業が急減しているため。

(2) 新たな海洋産業の創造・育成

方向2 静岡の海の豊かさの維持・増大

(1) 海・川の恵みの持続的な利用の確保

成果	資源管理に取り組む魚種数	(2020年度まで) 累計 14種	(2023年度) 累計 14種	基準値以下	累計 16種	ノコギリガザミ等の新たな魚種の放流に向けて種苗生産を行っているが、生産が不安定で、十分な放流量を確保できなかったため。
----	--------------	----------------------	--------------------	-------	--------	---

(2) 資源の維持・増大に向けた調査・研究の推進

■ 指標一覧

活動指標一覧

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

第1章 富を生み出すものづくり・商業・サービス業のイノベーション

方向1 成長分野における産業育成・プラットフォーム構築

(1) リーディング産業の育成（先端産業創出プロジェクト等の展開）

活動	先端産業創出プロジェクト等における試作品開発支援件数(合計)	(2017～2020年度) 累計 600件	(2022～2023年度) 累計 402件	○	(2022～2025年度) 累計 804件
(内訳)	(うち、ファルマバレープロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 55件	(2022～2023年度) 累計 30件	○	(2022～2025年度) 累計 60件
(内訳)	(うち、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 280件	(2022～2023年度) 累計 153件	○	(2022～2025年度) 累計 308件
(内訳)	(うち、フotonバレープロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 48件	(2022～2023年度) 累計 25件	●	(2022～2025年度) 累計 72件
(内訳)	(うち、自動車産業における電動化・デジタル化の推進)	(2019～2020年度) 累計 38件	(2022～2023年度) 累計 38件	○	(2022～2025年度) 累計 84件
(内訳)	(うち、ふじのくにCNFプロジェクト)	(2018～2020年度) 累計 19件	(2022～2023年度) 累計 8件	●	(2022～2025年度) 累計 28件
(内訳)	(うち、MaOIプロジェクト)	(2019～2020年度) 累計 22件	(2022～2023年度) 累計 25件	○	(2022～2025年度) 累計 40件
(内訳)	(うち、AOIプロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 53件	(2022～2023年度) 累計 33件	○	(2022～2025年度) 累計 56件
(内訳)	(うち、ChaOIプロジェクト)	(2020年度) 14件	(2022～2023年度) 累計 59件	◎	(2022～2025年度) 累計 80件
(内訳)	(うち、次世代航空機を含む航空宇宙産業等の成長産業分野への参入支援)	(2017～2020年度) 累計 71件	(2022～2023年度) 累計 31件	○	(2022～2025年度) 累計 76件
活動	先端産業創出プロジェクト等における中核人材育成数(合計)	(2017～2020年度) 累計 1,926人	(2022～2023年度) 累計2,633人	◎	(2022～2025年度) 累計 2,504人
(内訳)	(うち、ファルマバレープロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 151人	(2022～2023年度) 累計83人	○	(2022～2025年度) 累計 172人
(内訳)	(うち、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 165人	(2022～2023年度) 累計 203人	◎	(2022～2025年度) 累計 180人
(内訳)	(うち、フotonバレープロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 136人	(2022～2023年度) 累計 85人	○	(2022～2025年度) 累計 148人
(内訳)	(うち、自動車産業における電動化・デジタル化の推進)	(2018～2020年度) 累計 976人	(2022～2023年度) 累計 1,819人	◎	(2022～2025年度) 累計 1,432人
(内訳)	(うち、ふじのくにCNFプロジェクト)	(2017～2020年度) 累計 244人	(2022～2023年度) 累計 238人	◎	(2022～2025年度) 累計 268人
(内訳)	(うち、AOIプロジェクト)	(2020年度) 12人	(2022～2023年度) 累計 20人	○	(2022～2025年度) 累計 40人
(内訳)	(うち、次世代航空機を含む航空宇宙産業等の成長産業分野への参入支援)	(2017～2020年度) 累計 242人	(2022～2023年度) 累計 185人	◎	(2022～2025年度) 累計 264人

(2) リーディングセクターによる経済の牽引

活動	リーディングセクターにおける試作品開発支援件数 (本県経済を強力に牽引する産業における試作品開発支援件数)(合計)	(2017～2020年度) 累計 131件	(2022～2023年度) 累計 92件	○	(2022～2025年度) 累計 164件
(内訳)	(うち、医薬品・医療機器産業)	(2017～2020年度) 累計 54件	(2022～2023年度) 累計 48件	◎	(2022～2025年度) 累計 60件
(内訳)	(うち、フーズ・ヘルスケア産業)	(2017～2020年度) 累計 23件	(2022～2023年度) 累計 10件	○	(2022～2025年度) 累計 26件
(内訳)	(うち、光・電子関連産業)	(2017～2020年度) 累計 10件	(2022～2023年度) 累計 1件	●	(2022～2025年度) 累計 14件
(内訳)	(うち、次世代自動車)	(2018～2020年度) 累計 44件	(2022～2023年度) 累計 33件	○	(2022～2025年度) 累計 64件

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

(3) DXを推進する産業人材の確保・育成

活動	TECH BEAT Shizuokaにおける商談件数	(2020年度) 413件	(2023年度) 337件	●	毎年度 420件
活動	ICT企業立地交渉件数(3か月以上継続して交渉した件数)	(2020年度) —	(2022~2023年度) 累計 77件	◎	(2022~2025年度) 累計 80件
活動	在職者訓練におけるデジタル化等関連分野訓練受講者数の割合	(2020年度) 15.6%	(2023年度) 23.6%	●	50%

(4) オープンイノベーションを促す環境整備

活動	先端産業創出プロジェクトとの連携による地域企業の協業・販路開拓等支援件数	(2020年度) 17件	(2023年度) 52件	◎	毎年度 36件
活動	特許流通アドバイザーによる知的財産の活用マッチング件数	(2020年度) 70件	(2023年度) 76件	○	毎年度 70件
活動	新成長戦略研究の実用化割合	(2020年度) 77.8%	(2023年度) 85.7%	○	毎年度 80%
活動	大学発ベンチャー企業支援件数	(2019~2020年度) 累計 24件	(2022~2023年度) 累計 31件	○	(2022~2025年度) 累計 50件

(5) 社会構造の変化を踏まえた企業立地政策の推進

活動	県職員の企業誘致等に関する企業訪問件数	(2020年度) 1,272件 (2019年度)2,706件	(2023年度) 2,616件	◎	毎年度 2,000件
活動	企業立地交渉件数(3か月以上継続して交渉した件数)	(2017~2020年度) 累計 421件	(2022~2023年度) 累計 517件	◎	(2022~2025年度) 累計 476件
活動	【再掲】ICT企業立地交渉件数(3か月以上継続して交渉した件数)	(2020年度) —	(2022~2023年度) 累計 77件	◎	(2022~2025年度) 累計 80件

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

方向2 事業環境の変化を好機と捉えた中小企業の成長促進

2-1 グローバル型・サプライチェーン型企業の事業拡大（中小から中堅企業への成長）

(1) 地域経済を牽引する中堅企業に向けた投資促進（人材投資、研究開発、設備投資）

活動	新事業展開を目指す中小企業等の相談対応件数	(2020年度) 3,356件	(2023年度) 4,160件	◎	3,900件
活動	新事業展開を目指す中小企業等への支援件数	(2020年度) 423件	(2022～2023年度) 累計 785件	○	(2022～2025年度) 累計 2,000件
活動	成長産業分野支援資金及び産業成長促進資金の利用件数	(2020年度) 82件	(2023年度) 132件	◎	115件
活動	オープンイノベーション静岡による地域企業支援件数	(2020年度) 52件 (2019年度)63件	(2023年度) 71件	○	毎年度 70件
活動	地域経済牽引事業計画の承認件数	(2017～2020年度) 累計 76件	(2022～2023年度) 累計 23件	○	(2022～2025年度) 累計 48件
活動	IoT大学連携講座によるIoT実装件数	(2020年度) 6件	(2023年度) 25件	◎	毎年度 18件
活動	ふじのくにロボット技術アドバイザーの訪問企業数	(2020年度) 累計 63社	(2023年度) 累計 226社	○	(2022～2025年度) 累計 400社

(2) 海外市場での競争力強化と活力取り込み

活動	海外展開支援事業利用件数	(2017～2020年度) 累計 636件	(2022～2023年度) 累計 262件	○	(2022～2025年度) 累計 636件
活動	海外経済ミッションの受入れ件数	(2017～2020年度) 累計 45件 (2018～2019年度)累計29件	(2022～2023年度) 累計 30件	◎	(2022～2025年度) 累計 44件

2-2 地域資源型・地域コミュニティ型企業の経営強靱化（中小・小規模企業の持続的発展）

(1) 中小企業の持続的発展に向けた経営力向上

活動	事業協同組合の設立件数	(2018～2020年度) 累計 98件	(2022～2023年度) 累計 33件	●	(2022～2025年度) 累計 108件
活動	専門性の高い研修を受講した経営指導員等の人数	(2020年度) —	(2023年度) 19人	●	毎年度 30人
活動	工業技術研究所の技術指導件数	(2020年度) 32,482件	(2023年度) 35,080件	◎	35,000件
活動	県の取引あっせんによる下請取引成約件数	(2020年度) 30件 (2019年度)60件	(2023年度) 74件	◎	45件
活動	デザイン相談窓口の相談対応件数	(2020年度) 2,181件	(2023年度) 2,027件	○	毎年度 2,200件
活動	デザインマッチング事業への主要な地場産業の参加件数	(2018～2020年度) 累計 11件	(2022～2023年度) 累計 1件	●	(2022～2025年度) 累計 15件
活動	グッドデザインしずおかの応募製品等にデザイナーが関わった件数	(2020年度) 20件	(2022～2023年度) 累計 48件	○	(2022～2025年度) 累計 80件

(2) 中小企業の強靱化に向けた経営基盤強化

活動	事業承継診断実施件数	(2017～2020年度) 累計 25,063件	(2022～2023年度) 累計14,659件	○	(2022～2025年度) 累計 26,000件
活動	企業のライフステージ(創業・事業拡大・事業承継)に応じた県制度融資の利用件数	(2020年度) 752件	(2023年度) 1,317件	◎	1,190件

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
(3) 地域を支える魅力ある商業・サービス産業の振興				
活動	「ふじのくに魅力ある個店」の新規登録件数	(2020年度) 156件	(2023年度) 34件	● 毎年度 65件
活動	リノベーションまちづくりに取り組む市町数	(2020年度) 8市町	(2023年度) 10市町	○ 12市町
活動	空き店舗対策会議の開催	(2020年度) 0回	(2023年度) 3回	○ 毎年度 3回以上
活動	市町創業支援等事業計画に基づく支援件数	(2020年度) 7,085件	(2023年度) 11,044件	◎ 10,800件
活動	創業にかかる県制度融資の利用件数	(2020年度) 604件	(2023年度) 964件	◎ 910件
活動	サービス産業活性化支援事業等による支援件数	(2017～2020年度) 累計 615件	(2022～2023年度) 累計 366件	○ (2022～2025年度) 累計 640件
2-3 地域産業の基盤強化				
(1) デジタル化の推進				
活動	DXを活用した業務改革に取り組む中小企業等への専門家派遣件数	(2020年度) 34件	(2023年度) 65件	◎ 70件
(2) 災害対策・BCP策定の促進				
活動	事業継続力強化支援計画策定件数	(2020年度) 19件	(2023年度) 40件	○ 50件
(3) 多様な人材の活躍促進				
活動	静岡U・ターン就職サポートセンター利用者の県内企業内定者数(学生)	(2020年度) 195人	(2023年度) 105人	● 260人
活動	就職支援協定締結大学との連携イベント実施数	(2020年度) 23回	(2023年度) 62回	○ 80回
活動	静岡U・ターン就職サポートセンター利用者の県内企業内定者数(社会人)	(2020年度) 90人	(2023年度) 49人	● 毎年度 90人
活動	WAZAチャレンジ教室参加者数	(2020年度) 1,926人	(2023年度) 2,304人	○ 毎年度 2,400人
活動	仕事と子育て(介護)の両立支援・働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる企業の割合	(2020年度) 88.8%	(2023年度) 90.3%	○ 毎年度 95%
活動	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定中小企業数	(2020年度) 2,257社	(2023年度) 2,412社	● 2,700社
活動	労働法セミナー受講者数	(2020年度) 369人	(2023年度) 450人	○ 毎年度 450人
活動	多様な勤務制度等の導入に取り組んでいる企業の割合	(2021年度) 33.1%	(2023年度) 54.5%	◎ 45%
活動	高齢者雇用推進コーディネーターの支援による就職者数	(2020年度) 214人	(2023年度) 367人	◎ 毎年度 300人
活動	障害者雇用推進コーディネーターの支援による就職者数	(2020年度) 537人	(2023年度) 725人	◎ 650人
活動	工科短期大学校等の定住外国人向け職業訓練受講者数	(2020年度) 58人	(2023年度) 41人	● 100人

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

第2章 環境と経済が両立した社会の形成

方向1 環境と経済が両立した社会の形成

(1) 脱炭素社会実現のためのエネルギー体制構築

活動	太陽光発電導入量	(2020年度) 226.3万kW	(2022年度) 249.8万kW	○	285.0万kW
活動	バイオマス発電導入量	(2020年度) 5.0万kW	(2022年度) 13.6万kW	○	24.6万kW
活動	中小水力発電導入量	(2020年度) 1.3万kW	(2022年度) 1.4万kW	◎	1.4万kW
活動	水素ステーション設置数	(2020年度) 3基	(2023年度) 6基	○	10基
活動	電気自動車用充電器設置数	(2020年度) 970基	(2023年度) 1,237基	◎	1,200基
活動	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会 において、技術開発に取り組むワーキンググループ数	(2020年度) 8件	(2023年度) 15件	◎	13件
活動	エネルギー関連機器・部品製品化支援件数	(2018～2020年度) 累計 10件	(2022～2023年度) 累計 7件	○	(2022～2025年度) 累計 12件
活動	次世代自動車分野における試作品開発等 支援件数	(2019～2020年度) 累計 38件	(2022～2023年度) 累計 38件	○	(2022～2025年度) 累計 84件
活動	【再掲】ふじのくにCNFプロジェクトにおける試 作品開発等支援件数	(2018～2020年度) 累計 19件	(2022～2023年度) 累計 8件	●	(2022～2025年度) 累計 28件

(2) 循環型社会の構築のための産業転換支援

活動	【再掲】新成長戦略研究の実用化割合	(2020年度) 77.8%	(2023年度) 85.7%	○	毎年度 80%
----	-------------------	-------------------	-------------------	---	---------

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

第3章 農業生産の革新と美しく活力ある農村の創造

方向1 生産性と持続性を両立した次世代農業の実現

(1) デジタル技術等を活用した農芸品の生産性向上

活動	AOIプロジェクト事業化件数	(2018～2020年度) 累計 22件	(2023年度まで) 累計 14件	○	(2022～2025年度) 累計 27件
活動	スマート農業技術を導入している重点支援経営体の割合	(2021年度) 14.9%	(2023年度) 25.1%	●	55%
活動	農地バンクによる新規集積面積	(2017～2020年度) 累計 1,496ha	(2022～2023年度) 累計 583ha	○	(2022～2025年度) 累計 1,664ha
活動	全茶園に占める茶のビジネス経営体等が経営する茶園面積の割合	(2020年) 36.7%	(2023年) 40.2%	○	43%
活動	生産施設の整備面積(施設園芸拠点の整備)	(2018～2020年度) 平均4.8ha/年	(2023年度) 10.5ha	◎	毎年度 6.0ha
活動	畜産クラスター等による施設・機械の整備導入件数	(2020年度) 7件	(2023年度) 6件	◎	毎年度 5件
活動	品目別基盤整備プロジェクトの整備面積	(2021年度まで) 累計 754ha	(2023年度まで) 累計 1,155ha	○	累計 1,659ha
活動	ICT水田水管理システムの実装化面積	(2020年度まで) —	(2023年度まで) 累計 219ha	○	累計 350ha
活動	スマート農業に対応した基盤整備面積	(2020年度まで) 累計 385ha	(2023年度まで) 累計 1,096ha	○	累計 1,319ha
活動	基幹農業水利施設の更新整備数	(2020年度まで) 累計 22施設	(2023年度まで) 累計 56施設	○	累計 82施設

(2) 農業生産における環境負荷の軽減

活動	環境負荷軽減技術(IPM等)の導入産地数	(2021年度) 15産地	(2023年度) 21産地	◎	21産地
活動	省エネ機器・資材の導入面積	(2020年度) —	(2023年度) 10.5ha	◎	毎年度 3ha
活動	農業水利施設を活用した小水力発電の導入量	(2020年度まで) 累計 2,552kW	(2023年度まで) 累計 2,552kW	●	累計 2,950kW

(3) 次代を担う農業経営体の育成

活動	新規農業法人数	(2020年度) 22法人	(2023年度) 38法人	●	毎年度 45法人
活動	新規就農者数	(2020年度) 283人	(2023年度) 345人	◎	毎年度 300人
活動	生産が拡大した重点支援経営体数	(2021年度) —	(2023年度) 191経営体	●	(2022～2025年度) 累計 600経営体
活動	認定農業者に占める女性の割合	(2019年度) 5.6%	(2023年度) 7.1%	◎	6.7%

(4) 市場と生産が結びついた「ふじのくにマーケティング戦略」の推進

活動	山の洲でのフェア等販売額	(2020年度) 8,900万円	(2023年度) 1億1,686万円	○	1億5,000万円
活動	山の洲の量販店等との商談件数	(2020年度) 107件	(2023年度) 98件	●	200件
活動	「バイ・サイズオカ オンラインカタログ」出店数	(2021年度) 150店	(2023年度) 566店	◎	(2021～2025年度) 累計 600店
活動	農林水産物の付加価値向上に向けた取組件数	(2017～2020年度) 累計 747件	(2022～2023年度) 累計 382件	○	(2022～2025年度) 累計 760件
活動	GAP認証取得農場数	(2020年度) 4,122農場	(2023年度) 3,294農場	●	4,500農場
活動	ChaOIプロジェクトによる商品化件数	(2020年度) 0件	(2023年度) 11件	○	(2022～2025年度) 累計 16件
活動	輸出事業計画の認定数	(2020年度まで) 累計 5件	(2023年度まで) 累計 30件	◎	累計 35件
活動	海外戦略セミナー・相談会の開催回数	(2020年度) 4回	(2023年度) 9回	○	毎年度 8回

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

方向2 人々を惹きつける「都」づくりと持続可能な農村の創造

(1) 人々を惹きつける都づくり

活動	「食の都」づくりに関する表彰数	(2018～2021年度) 累計 76個人・団体	(2022～2023年度) 累計 39個人・団体	○	(2022～2025年度) 累計 70個人・団体
活動	通年で静岡茶愛飲に取り組んでいる小中学校の割合	(2020年度) 62%	(2023年度) 60%	●	70%
活動	花育活動受講者数	(2014～2020年度) 平均2,400人	(2023年度) 5,303人	◎	毎年度 2,400人

(2) 美しく活力のある農村の創造

活動	「ふじのくに美しく品格のある邑(登録邑)」による農地保全・活用面積	(2020年度) 17,028ha	(2023年度) 18,093ha	○	19,500ha
活動	生活環境基盤の整備施設数	(2020年度まで) 累計 5箇所	(2023年度まで) 累計 9箇所	●	累計 18箇所
活動	鳥獣被害防止対策優先地域を設定し、戦略的対策を実施する市町数	(2020年度) 0市町	(2023年度) 10市町	○	18市町
活動	農村ツーリズム(景観・食・文化)を推進するデジタルマップ作成数	(2020年度まで) 0邑	(2023年度まで) 累計 90邑	○	累計 150邑
活動	静岡県農林漁家民宿延べ宿泊者数	(2019年度) 4,363人	(2023年度) 5,049人	◎	5,000人
活動	「静岡の茶草場農法」茶関連商品販売数	(2020年度) 846,330個	(2023年度) 784,905個	●	975,000個
活動	防災重点農業用ため池の整備数	(2020年度まで) 累計 216箇所	(2023年度まで) 累計 233箇所	●	累計 346箇所

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

第4章 林業の成長産業化と森林の多面的機能の発揮

方向1 森林資源の循環利用を担う林業・木材産業によるグリーン成長

(1) 林業イノベーションの推進による県産材の安定供給

活動	ふじのくに林業イノベーションフォーラム参加者数	(2020年度) 37者	(2023年度) 75者	○	100者
活動	森林経営計画認定面積	(2020年度) 83,993ha	(2023年度) 80,465ha	●	100,000ha
活動	効率的な森林整備を実現する路網の延長	(2020年度まで) 累計 4,930km	(2023年度まで) 累計 5,643km	◎	累計 5,910km
活動	再造林面積	(2020年度) 236ha	(2023年度) 196ha	●	毎年度 500ha
活動	エリートツリー種子の生産量	(2020年度) 28万本分	(2023年度) 1.9万本分	●	100万本分
活動	世界基準の認証取得森林面積	(2020年度) 72,536ha	(2023年度) 75,663ha	●	80,000ha

(2) 林業の人材確保・育成と持続的経営の定着

活動	林業への新規就業者数	(2020年度) 81人	(2023年度) 64人	●	毎年度 100人
活動	森林技術者数	(2020年度) 536人	(2023年度) 528人	○	毎年度 500人
活動	木材生産の労働生産性	(2020年度) 4.2m ³ /人日	(2023年度) 4.5m ³ /人日	●	5.6m ³ /人日
活動	持続的経営の定着を図る事業体数	(2020年度) 20事業体	(2023年度) 42事業体	○	60事業体

(3) 県産材製品の需要拡大

活動	住宅や建築物で利用される品質の確かな県産材製品(JAS製品等)の供給量	(2020年度) 9.7万m ³	(2023年度) 10.1万m ³	●	11万m ³
活動	公共部門の県産材利用量	(2020年度) 21,170m ³	(2023年度) 24,523m ³	○	毎年度 23,000m ³

方向2 森林の公益的機能の維持・増進

(1) 森林の適切な管理・整備

活動	【再掲】森林経営計画認定面積	(2020年度) 83,993ha	(2023年度) 80,465ha	●	100,000ha
活動	森林の二酸化炭素吸収量を確保する間伐面積	(2020年度) 8,408ha	(2023年度) 8,007ha	●	毎年度 9,990ha
活動	【再掲】効率的な森林整備を実現する路網の延長	(2020年度まで) 累計 4,930km	(2023年度まで) 累計 5,643km	◎	累計 5,910km
活動	【再掲】再造林面積	(2020年度) 236ha	(2023年度) 196ha	●	毎年度 500ha

(2) 多様性のある豊かな森林の保全

活動	山地災害危険地区の整備地区数	(2020年度まで) 累計 4,103地区	(2023年度まで) 累計 4,138地区	◎	累計 4,143地区
活動	ふじのくに森の防潮堤づくり(中東遠地域)の整備延長	(2020年度まで) 累計 9,802m	(2023年度まで) 累計 13,420m	○	累計 17,500m
活動	森の力再生面積	(2020年度まで) 累計 17,987ha	(2023年度まで) 累計 20,710ha	○	累計 23,574ha
活動	公益的機能を持続的に発揮している保安林の割合	(2020年度) 84%	(2023年度) 91%	◎	90%
活動	一定規模以上の開発行為に伴う自然環境保全協定締結率	(2020年度) 100%	(2023年度) 100%	○	毎年度 100%

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

方向3 社会全体で取り組む魅力ある森林づくり

(1) 県民と協働を進める森林づくり

活動	SNSによる森林・林業に関する情報発信件数	(2020年度) 270件	(2023年度) 315件	○	毎年度 365件
活動	自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数	(2018~2020年度) 平均 182回 (2019年度)216回	(2023年度) 196回	○	毎年度 180回
活動	しずおか未来の森サポーター企業数	(2020年度まで) 累計 134社	(2023年度まで) 累計 152社	○	累計 160社
活動	森林環境教育指導者養成人数(養成講座修了者数)	(2020年度まで) 累計 51人	(2023年度まで) 累計 117人	○	累計 150人

(2) 新たな価値を活かした山村づくり

活動	【再掲】効率的な森林整備を実現する路網の延長	(2020年度まで) 累計 4,930km	(2023年度まで) 累計 5,643km	◎	累計 5,910km
活動	しいたけ生産量	(2020年度) 2,358トン	(2023年度) 1,635トン	●	2,370トン

方向4 「森林との共生」によるカーボンニュートラルの実現

(1) 森林吸収源の確保

活動	【再掲】森林の二酸化炭素吸収量を確保する間伐面積	(2020年度) 8,408ha	(2023年度) 8,007ha	●	毎年度 9,990ha
活動	【再掲】再造林面積	(2020年度) 236ha	(2023年度) 196ha	●	毎年度 500ha

(2) 炭素貯蔵と排出削減に寄与する森林資源の循環利用の促進

活動	【再掲】公共部門の県産材利用量	(2020年度) 21,170m ³	(2023年度) 24,523m ³	○	毎年度 23,000m ³
活動	【再掲】住宅や建築物で利用される品質の確かな県産材製品(JAS製品等)の供給量	(2020年度) 9.7万m ³	(2023年度) 10.1万m ³	●	11万m ³
活動	木質バイオマス(チップ)用材生産量	(2020年) 5.7万m ³	(2023年) 11.0万m ³	○	毎年 10万m ³

区分	指標	基準値	2024(評価) 現状値	目標値
----	----	-----	-----------------	-----

第5章 水産業の持続的な発展と新たな海洋産業の創出

方向1 水産業・海洋産業の高収益化・成長産業化

(1) 水産業の魅力の増大

活動	県産水産物の新たな県外需要開拓件数	(2020年度) 0件	(2023年度) 累計 7件	○	累計 10件
活動	漁協漁港食堂集客者数	(2020年度) 49万人	(2023年度) 75万人	◎	80万人
活動	漁業施設整備数	(2020年度) 8施設	(2023年度) 7施設	○	毎年度 8施設
活動	漁業高等学園卒業後の漁業就業者数	(2020年度) 16人	(2023年度) 13人	○	毎年度 15人
活動	新規漁業士の認定者数	(2020年度) 4人	(2023年度) 7人	◎	毎年度 4人

(2) 新たな海洋産業の創造・育成

活動	オープンイノベーション等を活用した研究開発件数	(2020年度) 5件	(2023年度) 6件	◎	6件
活動	研究成果の実用化件数	(2020年度) 累計 4件	(2023年度まで) 累計 6件	○	累計 8件
活動	オープンイノベーションに向けた海洋観測データの提供回数	(2020年度) —	(2023年度) 12回	○	毎年度 12回

方向2 静岡の海の豊かさの維持・増大

(1) 海・川の恵みの持続的な利用の確保

活動	水産資源の維持・増大に向けた漁業者等の自主的取組件数	(2020年度) 46件	(2023年度) 48件	○	毎年度 46件
活動	マダイ・ヒラメ放流尾数	(2020年度) マダイ 128万尾 ヒラメ 41万尾	(2023年度) マダイ 96万尾 ヒラメ 34万尾	○	毎年度 マダイ 105万尾 ヒラメ 32万尾

(2) 資源の維持・増大に向けた調査・研究の推進

活動	水産・海洋技術研究所における外部資金獲得件数(継続課題含む)	(2020年度) 9件	(2023年度) 11件	○	毎年度 10件
活動	水産・海洋技術研究所における広報・広聴実施件数	(2020年度) 55件	(2023年度) 102件	◎	60件